



ちゆうおう ふ じよきやうかい かいしやう  
中央扶助協会会長  
ジーン・B・ビンガム

# 火で 遊ばない!

「いましめを守る人を 神は守りみちびかん」  
(『子供の歌集』68)

子供のころのわたしの仕事の一つは、ごみをもやすこと  
でした。家中のごみを集めて、裏庭にある、金属のた  
るに入れて、マッチに火をつけて、たるの中に落とすのです。

ある日、とても風が強くて、マッチの火はすぐに消えてしま  
いました。そこでわたしは、新聞紙でたいまつをつくることにし  
ました。そうすれば、ほのおが長くもえて、ごみに火をつけら  
れるだろうと思ったのです。火遊びをするのはかきこいこと  
ではないということを思い出しましたが、心に感じる警告を無  
視しました。何まいかの新聞紙を丸めて先の細いつつにし  
て、マッチで火をつけると、金属のたるの中に落としました。

ヒューツ！ 強い風のせいで新聞紙はほのおに包まれて、  
あっという間にごみに火がつきました。大きなほのおがもえ  
上がって顔にふきつけました。幸い、ほとんどのかみの毛は  
ポニーテールにして後ろに束ねていましたが、前髪はこげて、  
ちりちりのひげのようになってしまいました。まつ毛もまゆ毛  
もなくなってしまいました。あっという間の出来事でした。

わたしは教訓を学びました。きけんなもので遊んだら、  
けがをするということです。わたしたちは両親やせいれいか  
ら、ポルノグラフィや麻薬などのきけんなものをさけるよう  
にと警告をあたえられています。警告の声を無視すること  
を選ばずなら、その結果を受けます。

時間がたつにつれて、かみの毛がのびたことに感謝しま  
す。それはくい改めと同じです。間違っただけをしたとき  
は、変わることを選ぶことができます。わたしたちはイエス・  
キリストのしよくざいによってゆるしを得ることができるの  
です。若くても年を取っていても、救い主はいつもそこにい  
てわたしたちを助けてくださいます。ちょうど、バプテスマを



受けた日のように、もう一度平安を感じることができます。

天のお父様は、わたしたちを愛しておられるので、いまし  
めをあたえてくださいました。わたしたちを守り、助けたい  
と望んでおられます。天のお父様とイエス・キリストは、わ  
たしたちに何とすばらしいおくり物をあたえてくださったこ  
とでしょう! ■